

図書館だより

平成25年12月13日
矢祭町立内川小学校
学校図書館担当：石井

たくさんの方が読めました！！

11月は、内川小学校読書強化月間でした！毎月の目標の5冊の倍である10冊を目標に設定して生活をしました。11月14日には、「もったいない図書館」の方の訪問があり、紙芝居の読み聞かせをしていただき、本の貸し出しもしていただきました。新しい本も届き、本に親しむ機会が多く持てました。

11月の読書冊数



合計読書冊数・・・192冊

平均読書冊数・・・10.6冊

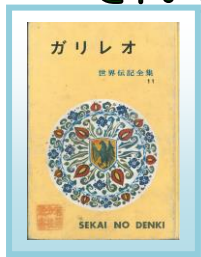
11月は、18人で合計192冊、一人平均10.6冊でした。読書強化月間であったこともあり、たくさんの本を読むことができました。図書室に来なくても、教室にたくさんの方が置かれているので、授業の隙間の時間などに読むことができました。読書の楽しさを、お家でも味わえるよう学校から借りた本を、週末などに持ち帰るよう声掛けを行っています。

児童のみなさんへ！！

先生たちのオススメ！！

今月から、先生たちが小学生の時に読んでいたオススメの本を紹介していきます。こたつに入って、ぜひ読んでみてはいかがでしょうか？今月は、教頭先生と図書館担当の石井先生の本を紹介します！

「それでも地球は回る」



400年前にイタリアで活躍した
科学者ガリレオ・ガリレイのお話です。
ガリレオは多くの人々が信じている
学説をただそのまま信じるのではなく、
自分自身で実験し、自分の目で確かめる
ことを大切にしました。

彼は、研究の結果から、地球が太陽の周りを回る
「地動説」を主張しました。しかし、当時の人々は地球が
宇宙の中心で太陽も星も地球の周りを回っていると信じて
いたので、みんなと違うことを言うガリレオを裁判にかけ
ます。しかし、彼は、大勢の人が言うが、ひどい目にあ
されようが、真実は変えられない、「それでも地球は回る」
と、つぶやくのです。

こういう科学者の生き方に感動し、小学生の頃に読んだ
この本は、いまでも心に残る一冊になっています。

「ほうれんそうマン」シリーズ



左の表紙を見てください。あれ？って
思った人はいませんか？見覚えの登場
人物がいるでしょう？そうです、みんなが
大好きな「かいけつゾロリ」シリーズの
ゾロリがいますよね？

実はこの本、「かいけつゾロリ」シリー
ズが始まる前に、出版された本なん
です。この本の主人公は、弱気な少年ポイポイです。元気の
源、ほうれんそうを食べて、ほうれんそうマンに変身して、
いじわるで、いたずら好きなゾロリから、ともだちを助ける
お話です。みんなの大好きな「かいけつゾロリ」は、実は「ほ
うれんそうマン」に出てきた脇役のゾロリを主人公にしたお
話だったんです！！こんな不思議な縁のある「ほうれんそう
マン」シリーズをぜひ読んでみてくださいね。学校の図書室に
はありませんが、「もったいない図書館」にありますよ！

★新しい本が届きました！★



あたらしい本が、74冊も届きました！各教室の本棚に設置しましたので、ぜひ読んでみてくださいね。

左の本は「フットボールアカデミー」シリーズです。右井先生が探していたサッカーのお話の本です。みんなと歳の近い男の子たちのサッカーにける熱い思いと、チームメイトとの絆が描かれています。サッカー好きのみなさん、ぜひ読んでみてくださいね。他にも、後で紹介しますが、読書感想画コンクールの課題の本もありますので、冬休みにお家でもぜひ読んでくださいね。

保護者のみなさんへ

遅くなってしまいましたが、夏休みの『家族といっしょにうちどくカード』のご協力ありがとうございました。内川小学校では、児童全員が毎月5冊以上の本を読むことを目標に『BookBank』を活用した読書指導を行っています。また、『家読』の推奨も行っており、児童が日頃から本に親しめるような環境をつくっていきたいと考えておりますので、ご家庭の方でも、ぜひ本に触れ合う機会を増やしていただけるようご協力お願いいたします。しかし、そうは言っても「家で本を読んでいる姿を見ないなあ。」と思っている保護者の方も多いのではないのでしょうか？ある本で読んだのですが、**子どもが本を読むのはじめの一步は「読み聞かせ」**なのだそうです。また、ご家庭でも、① **テレビや音楽を消す時間を作る** ② **親の本を読む姿を見せる** ③ **お子さんのレベルにあった本を与える** ④ **家族で図書館に出かける** ⑤ **読書している姿を褒める** ⑥ **食卓で本のことを話題にすると、子どもたちも自然に読書をするようになっていくそうです。**

この冬休みは特に、①と②を頑張ってみませんか？

『継続は力なり！』という言葉もあります。今年度も学校と家庭が連携し、継続して読書活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、重ねてご協力をお願いします。

★読書感想画コンクール特集★

1. 課題図書について

いよいよやってきます、冬休み！！冬休みの課題にあります「読書感想画コンクール」について、ご紹介していきます。今年度の課題図書は、以下の8冊です。1～3年生用の4冊と4～6年生用の4冊になっています。

読書感想文同様に、身近な話題であったり、絵として表しやすい内容になっている本です。この本で、かくかかないは別として、読んでみるのもいいと思いますよ。

<低学年 1～3年生用>



<高学年 4～6年生用>



2. どうやってかくのか

「どうやってかかせればいいの？」というお家の方もいらっしゃると思います。それについての手順の一例をあげてみたいと思います。

<準備物> 画用紙・着色する道具（絵の具・クレヨンなど）・色鉛筆・裏が白い広告（2枚）・はさみ・のり

- ① 描きたい場面を決める（画用紙に描くのは、一場面であってストーリーのすべてを描く必要はありません）。
- ② 画用紙と同じくらいの大ささの広告の裏などに下絵を描いて、色鉛筆でうすく色をつけます。
- ③ もう一度、その場面の登場人物の心情・表情を考えます。
- ④ 下絵を切って、もう一枚の広告の裏にどんな構図にするか考えて配置し貼り付けます。
- ⑤ 背景（時間帯や場所）を考えて描きこんでいきます。
- ⑥ 出来上がった下絵を基に、画用紙に下絵をかいて、彩色します。

※下絵は鉛筆ではなく、**油性ペンやクレヨン、わりばしペン**などを使って、間違っても気にしないでかき続けるように声をかけてあげてください。また、**下絵は、黒以外に、色を塗るときに使わない色を選ぶと効果的**です。